

活動報告

団体名	SVTS 風組
活動名	令和4年8月豪雨のための復旧活動
活動期間	2022/08/06~2022/09/30
活動の成果	<p>8月7日 村上市小岩内地区：集会所の瓦礫撤去・流れ着いたお宅の貴重品探し 集会所を小岩内地区の集落センターのコミュニティとして使用するために土石流で上流から押し流された家屋を重機4台、3tダンプ、チェーンソーなどを使い貴重品を探しながら瓦礫と土砂を撤去して使用できるようにした。</p> <p>8月12日 関川村湯沢：温泉施設・お寺ほかの瓦礫撤去 温泉施設やお寺、道路の瓦礫や土砂を重機8台、3tダンプ5台、チェーンソーなどを使っての活動をした。温泉施設内はミニバックホウと人力による瓦礫や土砂の撤去、施設周辺やお寺の周りは重機やチェーンソーなどで瓦礫の撤去、ダンプで土砂や瓦礫の運搬作業を行った。お盆も近いことから住民の方の安心した表情を少しでも見ることができたように感じた。</p> <p>8月19日 村上市高田：集会所 高田地区の集会所の床下の泥の撤去、床材のブラッシング、乾燥作業を行った。夏休みということもあり、集会所のように少しでも集まる場所があれば住民の方の話を伺うこともでき負担を減らすことができたように感じた。村上市小岩内地区では今後の復旧作業の確認、重機などの活動のための現地調査を行った。手つかずの場所があることでどんな作業になるのか、どんな重機が必要になるのか、住民の方の意向にそった活動を心掛けるように確認できたように感じた。</p> <p>8月20日 村上市高田(集会所)、関川村湯沢(温泉施設)：お寺周辺の瓦礫撤去他 関川村湯沢では重機と人力(一輪車)による土砂や瓦礫の撤去作業を行った。お寺の倒壊部分をチェーンソーなどを使い解体し、人力による運搬撤去作業、重機やカッターによる敷地内の土砂や瓦礫で倒壊した鉄製の防護柵の撤去作業を行った。目に見える不安な部分を取り除くことにより住民の方の安心感を得ることがあったように感じた。</p> <p>9月3日 村上市貝附：住宅裏の瓦礫撤去 村上市貝附地内の住宅の裏山が崩れて災害発生から1か月手つかずの場所で活動。チェーンソーで倒木を切り重機と人力でダンプに積み込み運搬、土砂は細かい作業を人力で行い重機でダンプに積み込み運搬。また、裏山の土砂崩れが直撃し4件のお宅が被災したが1週間前まで手つかず。うちの1件は8日より本格的に着手し早く家屋から土砂を切り離す作業を行った。</p> <p>9月19日 村上市・関川村：集会所近辺の整備・畑・花壇の復旧 関川村では、3軒のお宅にて、床下の泥出しや根太のブラッシングと消毒、草取りや災害廃棄物の分別を行なっています。村上市では、花壇や畑の土砂の掻き出し作業を行なった。</p>

	<p>9月30日 村上市小岩内：トマトハウス 周辺の泥だし整地 トマトハウス周りの土砂をバックホウとクローラードンプで運搬撤去、整地作業を行った。トマトハウス周りの土砂撤去作業は本日でほぼ完了することができた。今回の現場で消防職員と同じ現場で作業できたが、消防職員とボランティアが同じ現場にいるということまでは想定していなかった。大きな一歩のこれまでの活動を振り返ると少しでも被災された方の負担をなくすことを目標に活動させていただいたことに感謝している。</p>
<p>寄付者への メッセージ</p>	<p>国内外で数十年に一度という災害が起き、地元新潟県では近年、地震・水害・土砂崩れ・豪雪と大きな災害に見舞われています。風化する前に災害が頻繁におきることを前提にまずは自分の身を守ることから防災を覚え災害にあった時には普段からの行動をどうしたらいいのか災害を知らない世代に伝えていくことが大切なことだとおもっています。活動報告を兼ねた活動写真展を中越大震災の日前後に開催しています。お近くにお越しの際は足を運んでいただき写真展を見て同じ館内のそなえ館で防災を学んでいただきたいと思います。</p>

(活動のようす)

